総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成28年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（6/9）

	評価区分（※）	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1：1：2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 （柏市）	正	3.8	3.6 進捗度 ・TEP（※）による柏市内ベンチャー企業の支援数の増加 117% ※一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ ・特例措置による訪問リハビリテーション事業所及び特例措置による歯科衛生士事務所数 52% 等	3.8 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 等 地域独自の取組 ・柏市指定居宅サービス等事業人員設備運営基準等条例改正 ・電気事業法第17条第1項の規定による特定供給の供給先に関する規制緩和 等	3.8	・一部、事業進捗が十分でないところもあるが、全体としては、「都市経営」、「地域エネルギー」、「地域の健康・介護」の3軸から、公民学の連携によるまちづくりが進捗しており、十分に優れている。 ・リハビリ、口腔ケア等は総合特区の事業進捗の指標としては詳細すぎるように感じるが、ベンチャー事業支援等で着実に成果を上げていることは高く評価される。 ・ベンチャー企業の支援数（会員数）は増加しているが、エンジェル税制を活用した出資実績が増加しない中、ベンチャー企業への実際の出資が活性化していることを実績として示してほしい。 ・エネルギー的に安心なまちづくりがその他の産業・医療の基礎となるというストーリーであれば、エネルギー的指標も全体の最終年までモニタリングすべきであったのではないかと思われる。 ・今後はエネルギー分野の取り組みの更なる面的拡大や、訪問リハビリテーション及び歯科衛生士事務所数の増加へ向けた具体的な方策の検討を期待したい。

※「正」とは平成28年３月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年３月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。